

第58期 決算データ分析資料

令和2年(2020)12月期
第1四半期

第57期 定時株主総会
令和2年(2020)3月13日開催



トラスコ中山株式会社

令和2年(2020)5月11日発表

経営企画部長 兼 経理部長	中山 達也
経営企画・広報IR課長	片桐 武志
経営企画・広報IR課	平野 みのり

〒105-0004

東京都港区新橋四丁目28番1号

トラスコ フィオリートビル10F

TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881

E-mail: info@trusco.co.jp

ご出席者数	1,652名
東京会場	908名
大阪会場	744名

－ 資料目次 －

第58期 令和2年(2020)12月期 第1四半期

■トラスコ中山について

P3 新型コロナウイルス感染拡大における影響について

P4 【連結】会社概要

A■全社経営実績

P5 ①【連結】経営成績

P6 ②【親単体】経営成績

P7 ③【連結】令和2年(2020)12月期

全社月次売上高／1日当たり売上高

B■販売実績

P8 ①【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益

P9 ②【連結】販売セグメント別月次推移表

P10 ③【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・

販売ルート別実績

P11 ④【連結】eビジネスルート売上高・オレンジコマース連携数

P12 ⑤【連結】ホームセンタールート得意先

上位10社取引高

P13 ⑥海外子会社の経営成績

P14 ⑦【親単体】令和2年(2020)12月期第1四半期 売上分析

P15 ⑧【親単体】商品分類別売上実績

P16 ⑨【親単体】令和2年(2020)12月期第1四半期 売上分析

(商品分類別)

P17 ⑩【親単体】トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績

P18 ⑪【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品

売上高実績

C■取組み状況

P19 ①仕入先数及び新規掲載商品売上高／

在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数

P20 ②【親単体】物流データ

③【親単体】システム稼働状況

D■財務等実績

P21 ①【連結】販売費・一般管理費の主な増減内容

P22 ②【連結】販売費・一般管理費

P23 ③【連結】財務諸表

P24 ④【連結】設備投資等の状況

P25 ⑤令和2年(2020)度継続中の主な設備投資

E■今期以降の計画

P26 ①経営計画

■参考資料■

P27 ①株式情報

P28 ②業界での指数比較

P29 ③【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の予算

P30 ④会社データ

P31 ⑤当社売上高指数・鉱工業生産指数

P32 ⑥第58期 第1四半期トピックス(1)

P33 ⑦第58期 第1四半期トピックス(2)

新型コロナウイルス感染拡大による影響について

令和2年2月10日に公表しました令和2年12月期の連結業績予想は、新型コロナウイルスの影響を想定していない数値をベースに算定しております。

当社及び連結子会社は新型コロナウイルス感染拡大の中でも細心の注意を払いながら従来どおり受発注業務及び配送業務を継続しております。

第1四半期連結累計期間の実績は、ほぼ計画通りに推移しておりますが、今後、連結業績予想の修正が必要となった場合は速やかに開示いたします。

※要因分析はP.14～P.16に掲載

緊急事態宣言下における業務態勢について

《営業業務》

通常どおり受注活動を行っておりますが、営業訪問につきましては原則自粛しております。

《配達業務》

通常どおり配達業務を行っております。物流センター内に感染者が発生しましても、速やかに消毒作業を行い出荷業務を再開します。

万一、いずれかの物流センターが閉鎖となった場合でも、全国26か所の物流センターを総動員して代替出荷を実施します。

《従業員の勤務体制》

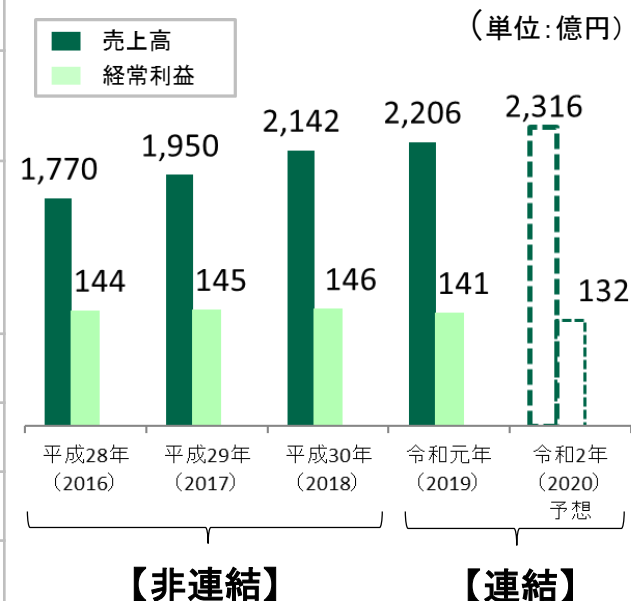
社員の感染リスク減少のため、在宅勤務の実施、営業車や自家用車を活用した乗合い通勤、自宅から一番近い事業所での勤務、時差出勤を随時行っております。

【連結】会社概要

令和2年(2020)3月末現在

創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也 全日本機械工具商連合会 副会長 大阪機械器具卸商協同組合 理事長
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計99か所 国内96か所: 本社2か所、支店68か所、物流センター26か所 海外3か所: 現地法人: タイランド、インドネシア/ 駐在所: ドイツ(デュッセルドルフ)
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード: 9830)
従業員数	2,787名(役員12名、社員1,642名、パート1,133名)
格付状況	A (株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール (工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

➤売上高・経常利益の推進



ビジネスフロー

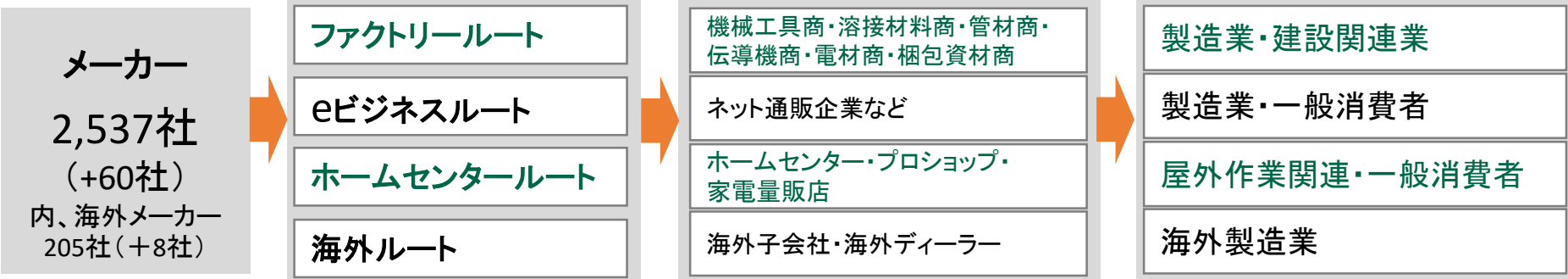
仕入先様

() 前年同期比 ※仕入先様数のみ令和元年(2019)12月末現在

当社 (卸売業)

主な販売店様 5,555社(P19参照)

ターゲット市場(主なユーザー様)



A-① 【連結】経営成績

- ・連結の売上高 : 前年同期比+3.1%、予算比は+0.9%。営業日数は前年同期より1日多い。
※営業日数は親単体での営業日数をもとに算出
- ・連結の売上総利益率 : 21.8% 前年同期比+0.3% 要因は下記①②によるもの。
⇒①新型コロナウイルス感染拡大の影響により、PB比率の高いマスクなどの環境安全用品の売上高が増加。
②eビジネスルートの売上高増加により、全体の売上総利益率が増加。(+0.3%)
- ・販管費 : 物流機能強化の為の積極的な設備投資による減価償却費の増加、出荷個数増加や運賃値上げによる運賃荷造費の増加等が主要因。(販管費詳細はP.21~22参照)

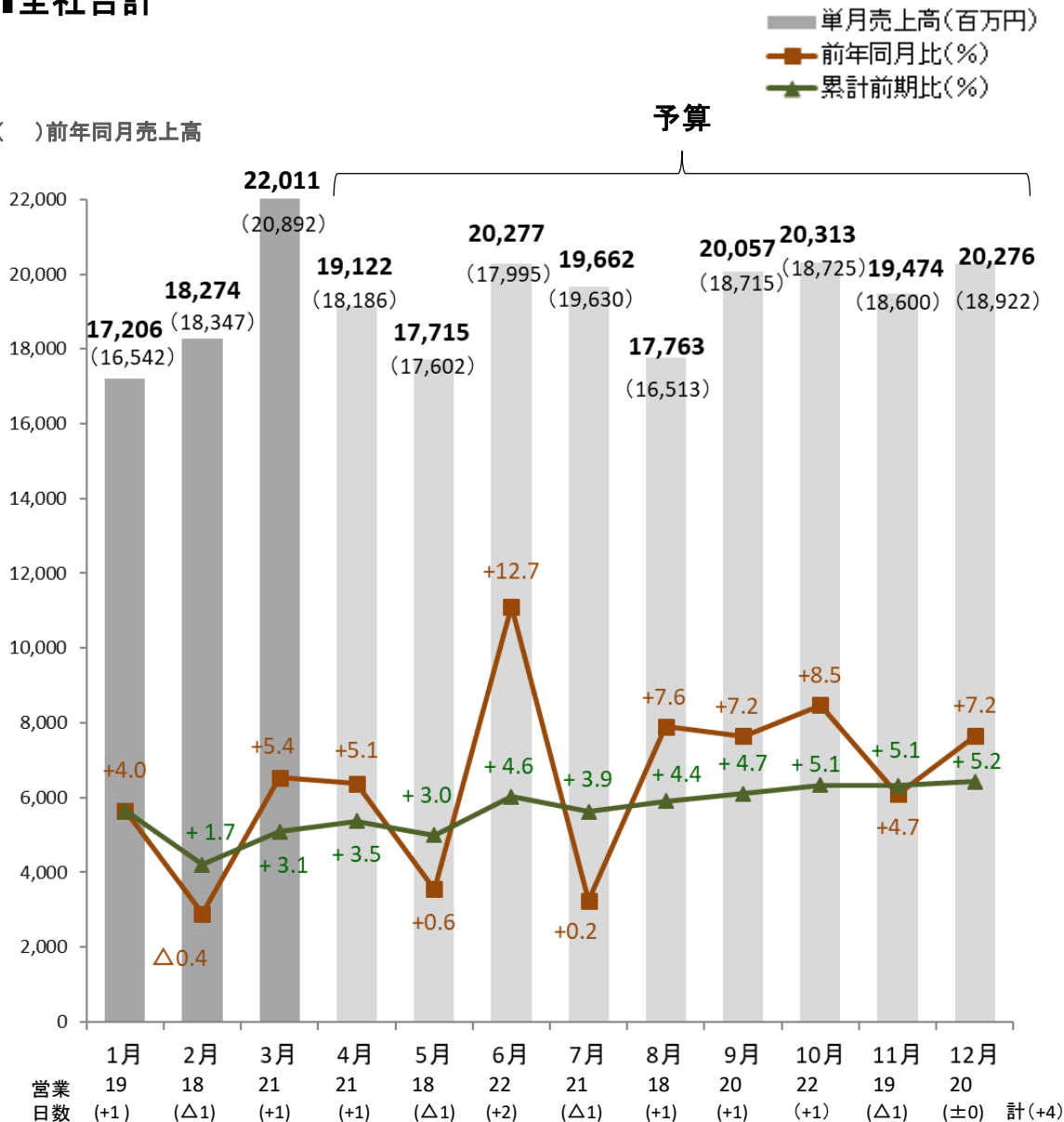
	令和元年（2019）12月期 第1四半期		令和2年（2020）12月期 第1四半期						
	実績	構成比 (%)	実績	構成比 (%)	前年 同期比 (%)	予算額	予算 構成比 (%)	予算 差額	予算比 (%)
売上高	557億81百万円	－	574億93百万円	－	+3.1	569億60百万円	－	+5億33百万円	+0.9
売上 総利益	119億96百万円	21.5	125億56百万円	21.8	+4.7	122億58百万円	21.5	+2億98百万円	+2.4
販売費及び 一般管理費	83億81百万円	15.0	92億18百万円 販管費詳細 P.21～P.22	16.0	+10.0	92億09百万円	16.2	+9百万円	+0.1
営業利益	36億14百万円	6.5	33億37百万円	5.8	△7.7	30億48百万円	5.4	+2億89百万円	+9.5
経常利益	36億72百万円	6.6	33億84百万円	5.9	△7.8	31億10百万円	5.5	+2億74百万円	+8.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	25億05百万円	4.5	23億21百万円	4.0	△7.4	21億17百万円	3.7	+2億04百万円	+9.7
1株当たり 四半期純利益	38円00銭	－	35円20銭	－	△2円80銭	32円10銭	－	+3円10銭	－

A-② 【親単体】経営成績

	令和元年（2019）12月期 第1四半期		令和2年（2020）12月期 第1四半期						
	実績	構成比 （％）	実績	構成比 （％）	前年 同期比 （％）	予算額	予算 構成比 （％）	予算 差額	予算比 （％）
売上高	556億82百万円	－	575億33百万円	－	+3.3	568億64百万円	－	+6億68百万円	+1.2
売上 総利益	119億31百万円	21.4	125億11百万円	21.7	+4.9	121億99百万円	21.5	+3億11百万円	+2.6
販売費及び 一般管理費	83億08百万円	14.9	91億53百万円 販管費詳細 P.21～P.22	15.9	+10.2	91億37百万円	16.1	+15百万円	+0.2
営業利益	36億22百万円	6.5	33億58百万円	5.8	△7.3	30億62百万円	5.4	+2億95百万円	+9.7
経常利益	36億77百万円	6.6	33億63百万円	5.8	△8.5	31億23百万円	5.5	+2億39百万円	+7.7
四半期 純利益	25億15百万円	4.5	23億03百万円	4.0	△8.4	21億23百万円	3.7	+1億80百万円	+8.5
P B 売上高	112億02百万円	20.1	114億72百万円 PB商品詳細 P.18	19.9	+2.4	114億89百万円	20.2	△16百万円	△0.0
1株当たり 四半期純利益	38円14銭	－	34円94銭	－	－	32円19銭	－	+2円75銭	－

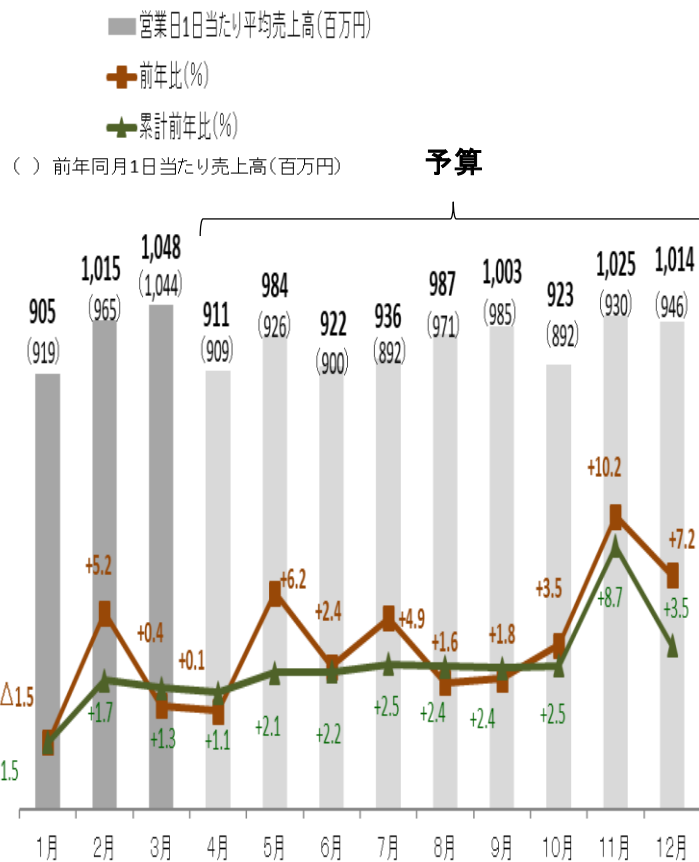
A-③【連結】令和2年(2020)12月期 全社月次売上高/1日当たり売上高

■全社合計



■全社1日当たり平均売上高推移

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社は1日当たりの売上高で前年との比較を行っております。
 また、企業の決算月である3月・12月は売上高が大きい繁忙期となっています。
 実績は親会社の営業日数で算出しています。



B-① 【連結】販売セグメント別売上高・売上総利益率・経常利益

■販売セグメント別 連結売上高

	令和元年(2019)12月期 第1四半期				令和2年(2020)12月期 第1四半期										
	売上高		売上 総利益率	経常利益	売上高							売上総利益率		経常利益	
販売ルート	実績	構成比	実績	実績	実績	構成比	前年増加額	前年同期比	予算	予算差額	予算比	実績	前年同期比	実績	前年同期比
ファクトリー ルート	436億55百万円	78.3%	21.1%	29億06百万円	433億50百万円	75.4%	△3億04百万円	△0.7%	440億87百万円	△7億36百万円	△1.7%	21.3%	+0.2pt	24億98百万円	△14.0%
eビジネス ルート	84億84百万円	15.2%	24.8%	7億77百万円	101億16百万円	17.6%	16億32百万円	+19.2%	89億71百万円	11億45百万円	+12.8%	25.2%	+0.4pt	9億08百万円	+16.9%
ホームセンター ルート	32億81百万円	5.9%	17.6%	△29百万円	36億82百万円	6.4%	4億00百万円	+12.2%	35億13百万円	1億69百万円	+4.8%	17.9%	+0.3pt	△33百万円	-
海外 ルート	3億60百万円	0.6%	32.0%	△44百万円	3億44百万円	0.6%	△16百万円	△4.5%	3億88百万円	△44百万円	△11.4%	34.4%	+2.5pt	△24百万円	-
全社合計	557億81百万円	100.0%	21.5%	36億72百万円	574億93百万円	100.0%	17億11百万円	+3.1%	569億60百万円	5億32百万円	+0.9%	21.8%	+0.3pt	33億84百万円	△7.8%

■ファクトリールート 前年同期比:△0.7%

米中貿易摩擦、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全体の景況感及び設備投資は前年に引き続き鈍化傾向です。同ウイルス感染拡大防止に付随する商品群や土木建築用品は好調に推移しています。(10ページ参照)

■eビジネスルート 前年同期比:+19.2%

内訳は、通販企業様向けが前年同期比+21.0%、電子購買企業様向けが前年同期比+13.9%です。(11ページ参照)
一部の通販企業様において景況感の影響により売上の減速がみられるものの、取扱商品の拡大や新型コロナウイルス感染拡大の巣ごもり効果により、通販企業様への受注が増加し、依然として売上高は拡大傾向にあります。

■ホームセンタールート 前年同期比:+12.2%

プロショップ様への売上高拡大は継続しており、また主力のホームセンター様とも取り組みを強化しております。(12ページ参照)

■海外ルート 前年同期比:△4.5%

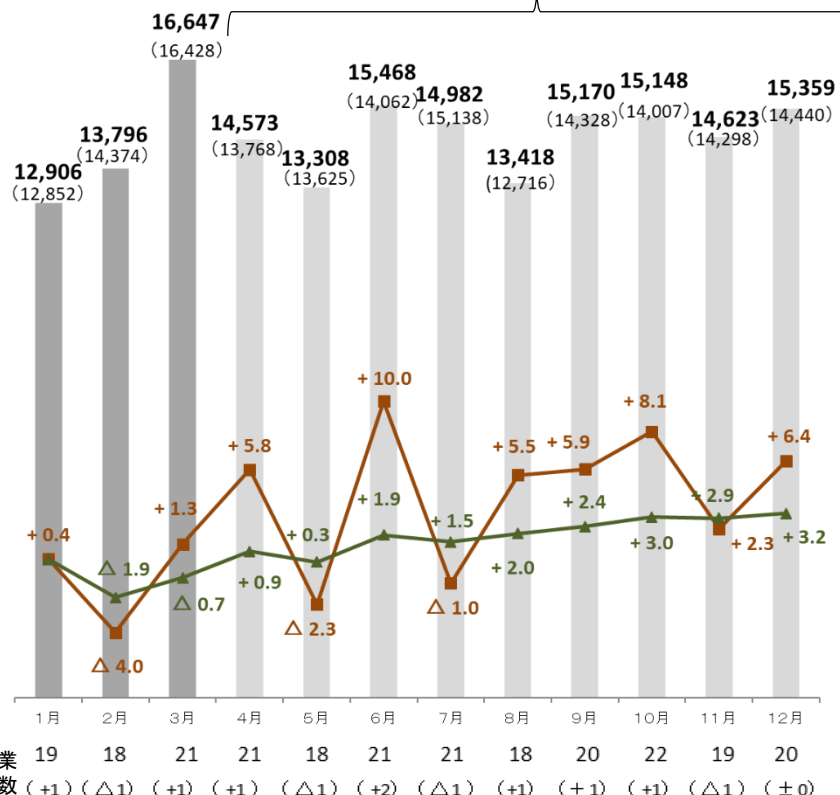
業績に与える影響は軽微であるものの、引き続き既存のお客様との取組強化、新規開拓を積極的行います。(13ページ参照)

B-② 【連結】販売セグメント別月次推移表

【ファクトリールート月次推移表

売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高

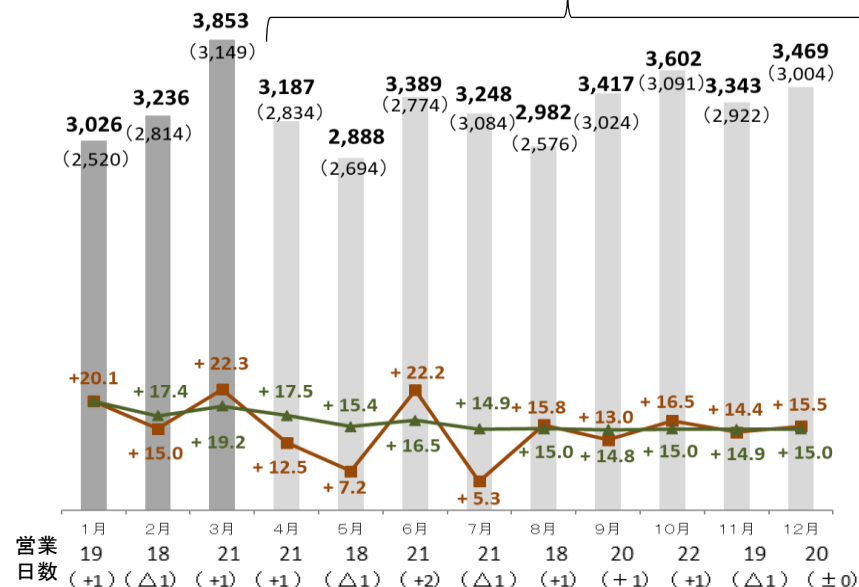
予算



leビジネスルート月次推移表

予算

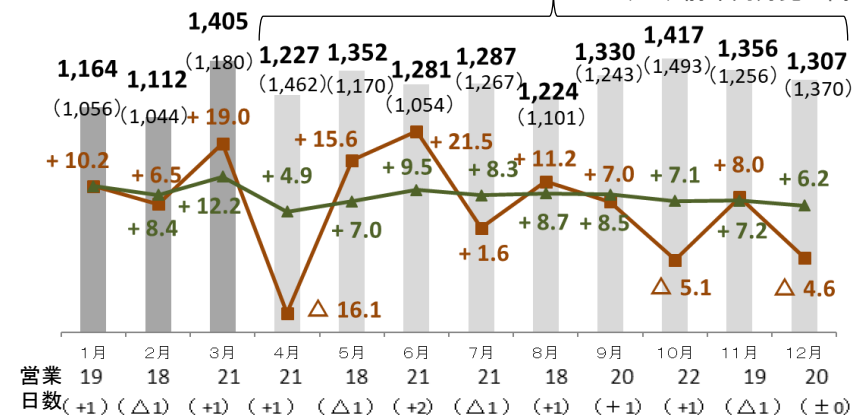
売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高



【ホームセンタールート月次推移表

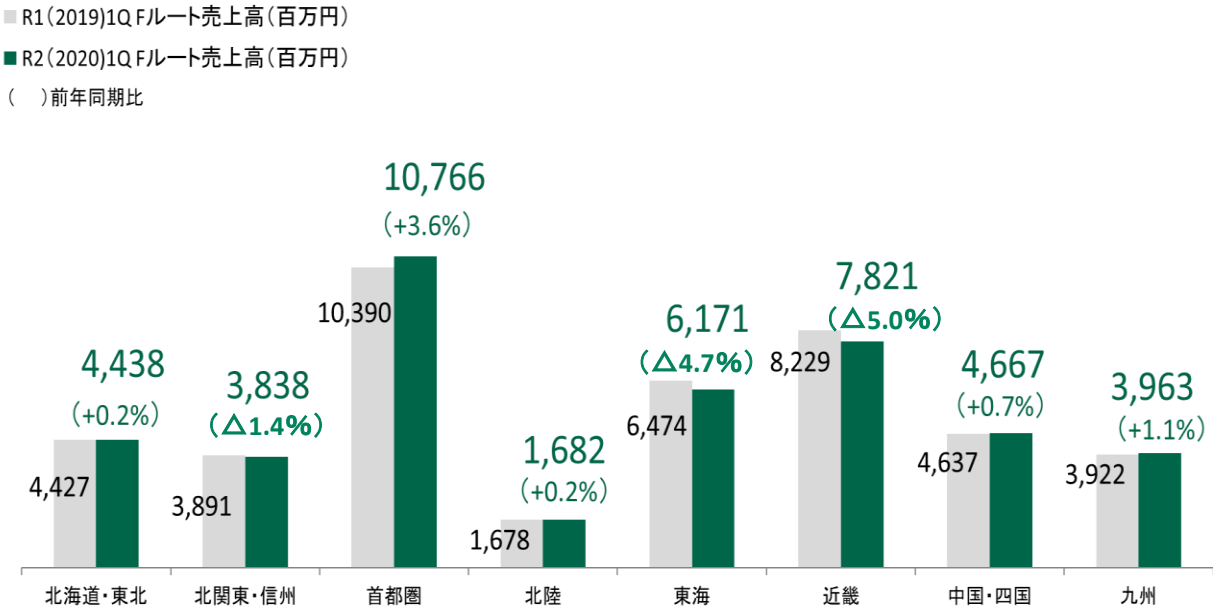
予算

売上高(百万円)
単月前年比(%)
累計前年比(%)
() 前年同月売上高

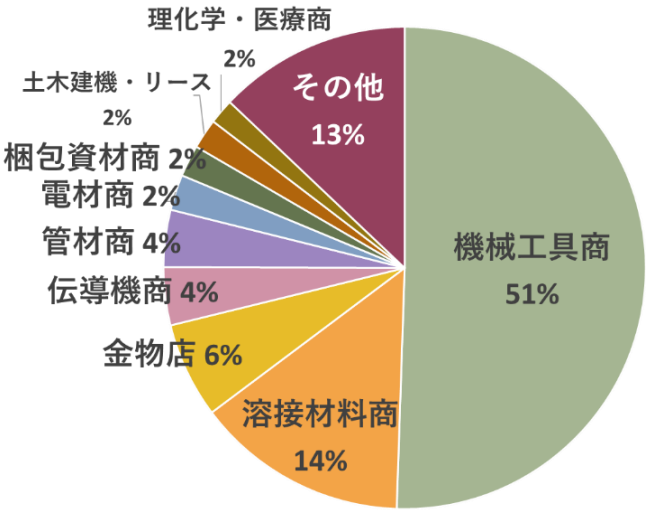


B-③ 【連結】ファクトリールート ブロック別・業種別・販売ルート別実績

■ファクトリールートブロック別売上高



■ファクトリールート業種別売上高構成比



■ファクトリールート販売ルート別売上高

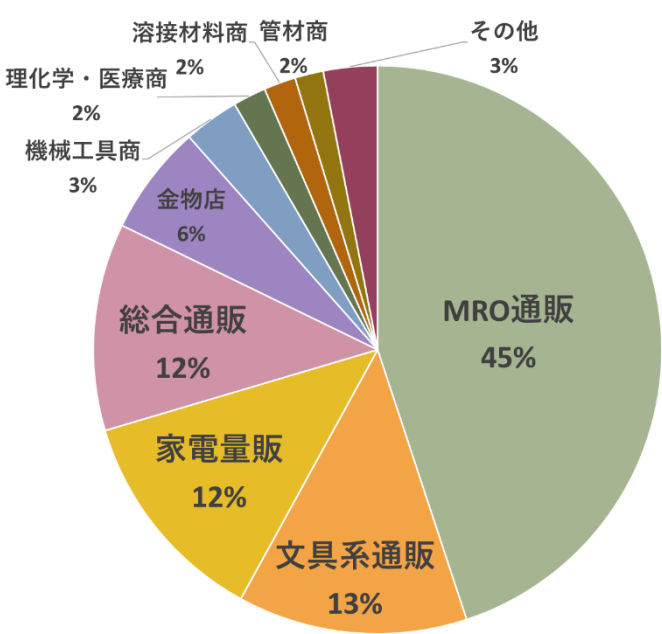
販売ルート	令和元年(2019)12月期 第1四半期			令和2年(2020)12月期 第1四半期						
	売上高		売上 総利益率	売上高					売上 総利益率	
	実績	構成比	実績	実績	構成比	前年 同期比	予算	予算比	実績	前年 同期比
機械工具商	227億70百万円	52.2%	20.8%	219億17百万円	50.6%	△3.7%	228億31百万円	△4.0%	21.1%	+0.3pt
溶接材料商	61億28百万円	14.0%	21.7%	61億73百万円	14.2%	+0.7%	63億64百万円	△3.0%	21.7%	+0.0pt
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	69億87百万円	16.0%	20.9%	71億56百万円	16.5%	+2.4%	71億18百万円	+0.5%	20.9%	+0.0pt
建設関連	77億68百万円	17.8%	21.4%	81億03百万円	18.7%	+4.3%	77億73百万円	+4.3%	21.7%	+0.3pt
ファクトリールート合計	436億55百万円	100.0%	21.1%	433億50百万円	100.0%	△0.7%	440億87百万円	△1.7%	21.3%	+0.2pt

B-④ 【連結】eビジネスルート売上高・オレンジコマース連携数

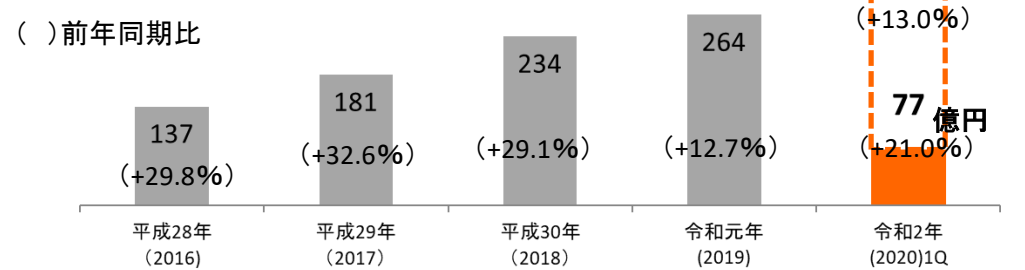
■eビジネスルート売上高

販売ルート	令和元年(2019)12月期 第1四半期		令和2年(2020)12月期 第1四半期				
	売上高		売上高			売上総利益率	
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比	実績	前年同期比
通販企業向け	63億77百万円	75.2%	77億17百万円	76.3%	+21.0%	24.5%	+0.3
オレンジコマース(電子購買) 連携企業向け	21億06百万円	24.8%	23億98百万円	23.7%	+13.9%	27.5%	+1.0
eビジネスルート合計	84億84百万円	100.0%	101億16百万円	100.0%	+19.2%	25.2%	+0.4

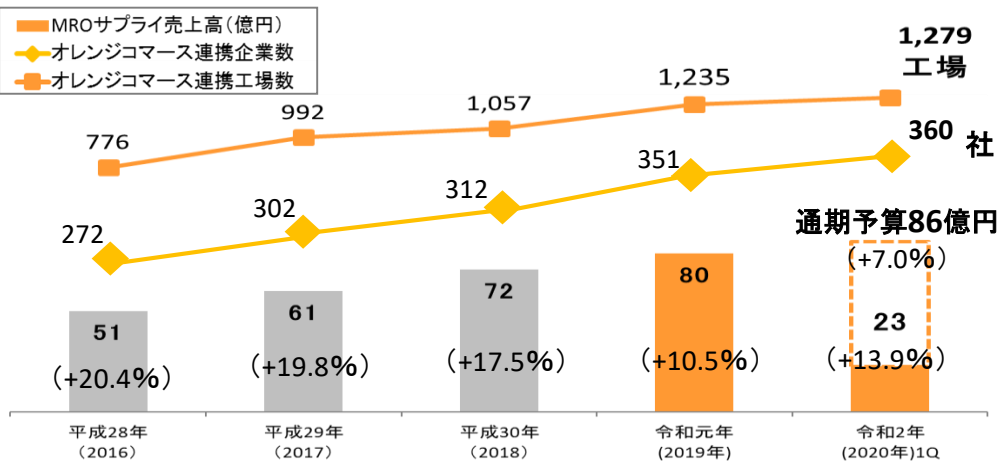
■通販企業向け売上高 業種別売上高比率



■通販企業向け売上高(億円)

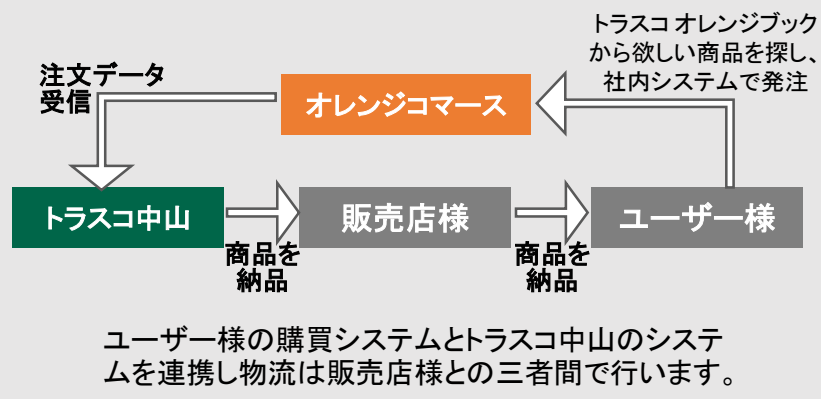


■オレンジコマース(電子購買)連携数推移 ()前年同期比



■電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



B-⑤ 【連結】ホームセンタールート得意先上位10社 取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター様各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ様・資材館のあるホームセンター様との取組を強化し、当社総合力をもって商品販売を行っていきます。

■ホームセンター得意先別売上高 単位: 百万円、%

順位	得意先名	令和元年 (2019)12月期 第1四半期	令和2年 (2020)12月期 第1四半期	前年同期比
1	DCM ホダカ(株)(プロショップ)	485	503	+ 3.7
2	(株)ナフコ	349	384	+ 9.9
3	コーナン商事(株)	285	349	+ 22.8
4	ロイヤルHC(株)	308	335	+ 8.9
5	(株)カインズ	216	319	+ 47.5
6	DCMカーマ(株)	273	282	+ 3.3
7	DCMホームマック(株)	224	237	+ 5.8
8	(株)島忠	188	233	+ 24.1
9	(株)コメリ	133	147	+ 10.2
10	DCMダイキ(株)	110	135	+ 22.9
10社合計		2,783	3,141	+ 12.9
HCルート売上合計		3,281	3,682	+ 12.2
10社のルート売上占有率		84.8	85.3	

ホームセンター様は、ネットと店舗を融合させ、来店客へのサービスを向上させるという取組をされています。その中で当社の取扱いアイテムと在庫により、取組が強化されたため、売り上げが増加しています。

■DCM ホールディングスへの売上高
合計: 1,274 百万円 (前年比+4.7%)
(DCMホダカ(株)、DCMカーマ(株)、DCMホームマック(株)、DCMダイキ(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)、(株)ケーヨー)

■プロショップ様向けの売上高
合計: 562百万円 (前年同期比: +7.9%)
(プロの職人さんや工員さんが使用する工具などに特化して商品を販売している店舗をプロショップと呼んでいます。当社の取扱商品と親和性が高く、売上高が伸びている販売先です。)

各企業名の敬称を省略しております。

経営企画・広報IR課にて作成した参考値です。

B-⑥ 海外子会社の経営成績

■海外子会社の累計実績

単位:百万円

令和2年(2020)12月期 第1四半期

		売上高	売上 総利益	販売費及び 一般管理費	営業利益	経常利益	当期(四半期) 純利益
内)TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION(THAILAND)LIMITED 1バーツ=3.34円 (前年3.49円)	実績	162	41	36	5	5	5
	率	－	25.6%	22.2%	3.4%	3.5%	3.5%
	前年 同期比	△16.5%	△14.6%	+4.0%	△60.3%	△60.1%	△60.1%
内)PT.TRUSCO NAKAYAMA INDONESIA 1ルピア=0.0067円 (前年0.0078円)	実績	54	11	28	△16	3	3
	率	－	21.8%	52.0%	－	6.8%	6.8%
	前年 同期比	△10.0%	△29.6%	△25.0%	－	－	－

TRUSCO NAKAYAMA CORPORATION(THAILAND)LIMITED
PT.TRUSCO NAKAYAMA INDONESIA

2010年9月設立
2014年12月設立

【参考】親会社におけるその他海外地域の売上実績

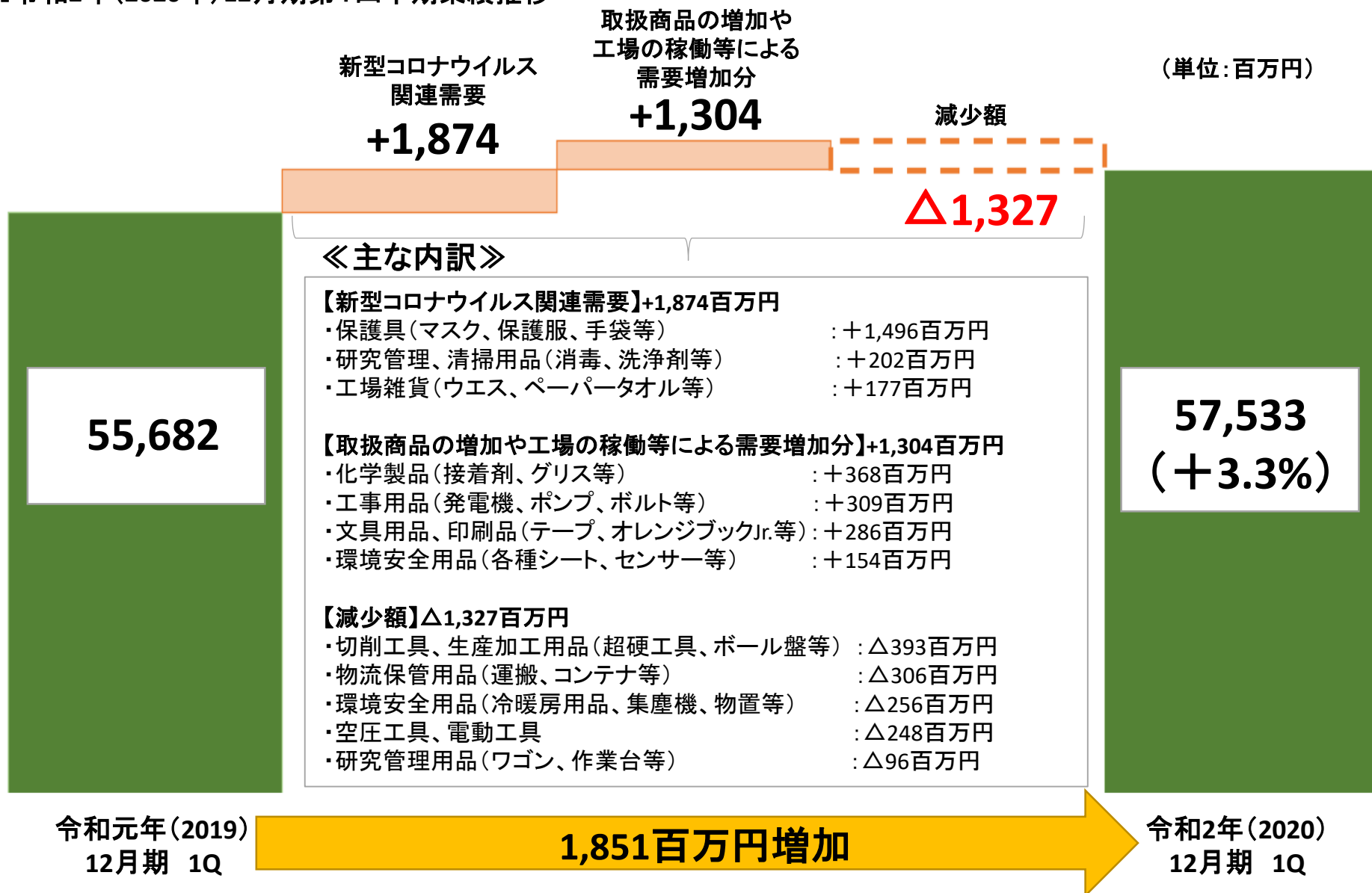
単位:百万円

令和2年(2020)12月期 第1四半期

		売上高	売上 総利益
その他海外地域の売上高実績 (フィリピン、中国、韓国など)	実績	127	34
	率	－	27.0%
	前年 同期比	+22.4%	+42.7%

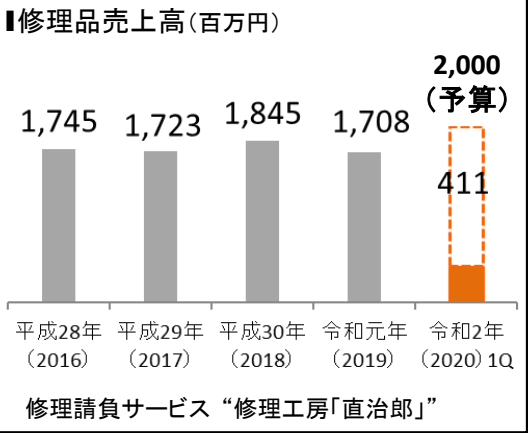
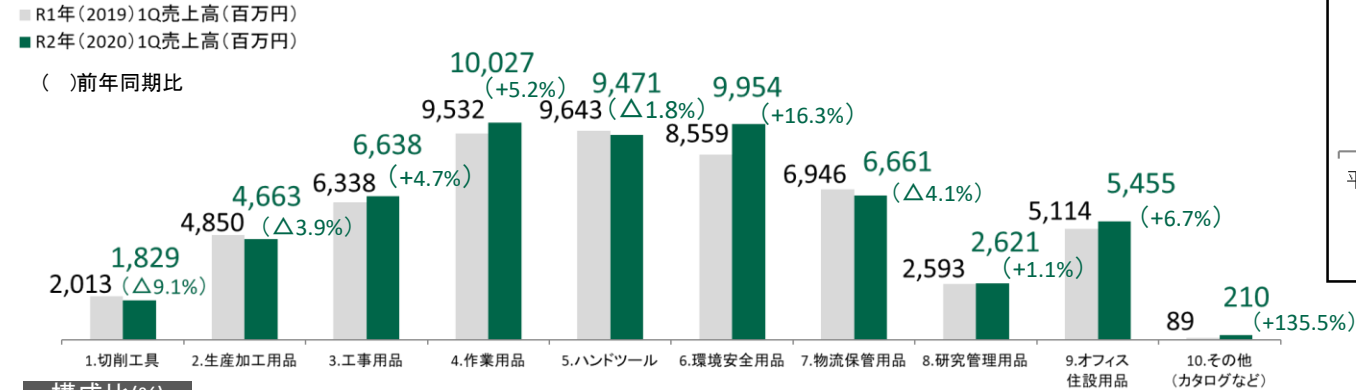
B-⑦ 【親単体】令和2年(2020)12月期第1四半期 売上分析

■令和2年(2020年)12月期第1四半期業績推移



B-⑧ 【親単体】商品分類別 売上実績

■大分類別売上高グラフと中分類内訳



構成比(%)											
商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年比	粗利率
1. 切削工具	① 切削工具	841	1.5	△12.5	11.6	6. 環境安全用品	㉕ 保護具	5,879	10.2	+34.1	25.9
	② 穴あけ・ネジきり工具	988	1.7	△6.0	22.1		㉖ 安全用品	2,383	4.1	+6.4	25.3
	③ 測定計測	2,407	4.2	+0.4	16.4		㉗ 環境改善用品	409	0.7	△9.9	20.9
2. 生産加工用品	④ メカトロニクス	966	1.7	+1.4	15.0		㉘ 冷暖房用品	521	0.9	△27.4	16.5
	⑤ 工作機工具	597	1.0	△16.9	22.2		㉙ 防災・防犯用品	267	0.5	+4.0	20.8
	⑥ 電動機械	691	1.2	△11.2	11.3		㉚ 物置・エクステリア用品	492	0.9	△2.9	15.3
3. 工事用品	⑦ 油圧工具	542	0.9	△2.4	11.5	7. 物流保管用品	㉛ 荷役用品	1,937	3.4	+1.1	17.0
	⑧ ポンプ	912	1.6	+7.0	15.5		㉜ コンベヤ	298	0.5	△12.0	17.6
	⑨ 溶接用品	518	0.9	+1.1	18.7		㉝ 運搬用品	2,476	4.3	△8.7	22.6
4. 作業用品	⑩ 塗装・内装用品	543	0.9	+4.4	25.3		㉞ コンテナ・容器	949	1.6	△1.8	30.1
	⑪ 土木建築	655	1.1	+26.6	12.4		㉟ スチール棚	998	1.7	△1.2	27.0
	⑫ はしご・脚立	855	1.5	△2.8	22.8	8. 研究管理用品	㊳ ツールワゴン	274	0.5	△9.4	29.0
5. ハンドツール	⑬ 配管・電設資材	907	1.6	+4.1	23.8		㊴ 保管・管理用品	366	0.6	△5.5	31.7
	⑭ 部品・金物・建築資材	1,704	3.0	+4.7	28.9		㊵ 作業台	405	0.7	△4.5	27.9
	⑮ 切断用品	342	0.6	+1.4	23.2	9. オフィス住設用品	㊶ ステンレス用品	496	0.9	△5.2	18.0
6. 環境安全用品	⑯ 研削・研磨用品	1,778	3.1	△1.5	23.7		㊷ 研究開発関連用品	1,077	1.9	+12.9	19.4
	⑰ 化学製品	4,875	8.5	+8.2	22.5		㊸ 清掃用品	1,539	2.7	+5.4	22.1
7. 物流保管用品	⑱ 工場雑貨	1,033	1.8	+20.6	16.1	10. その他	㊹ 文具用品	556	1.0	+18.6	18.9
	⑲ 梱包結束用品	1,285	2.2	△0.9	31.4		㊺ オフィス雑貨	717	1.2	+18.2	27.7
	⑳ キャスター	712	1.2	△2.1	15.6		㊻ 電化製品	911	1.6	△1.8	23.2
8. 研究管理用品	㉑ 電動工具・用品	2,536	4.4	△3.2	14.9	9. オフィス住設用品	㊼ OA事務用機器	469	0.8	+9.0	26.9
	㉒ 空圧工具用品	1,583	2.8	△9.4	18.3		㊽ 事務用家具	1,190	2.1	+4.4	23.7
	㉓ 手作業工具	4,841	8.4	+1.0	22.5		㊾ インテリア用品	70	0.1	△8.0	19.9
9. オフィス住設用品	㉔ 工具箱	509	0.9	+6.2	30.2	10. その他	㊿ 全体	210	0.4	+135.5	-
							合計	57,533	100.0	+3.3	21.7

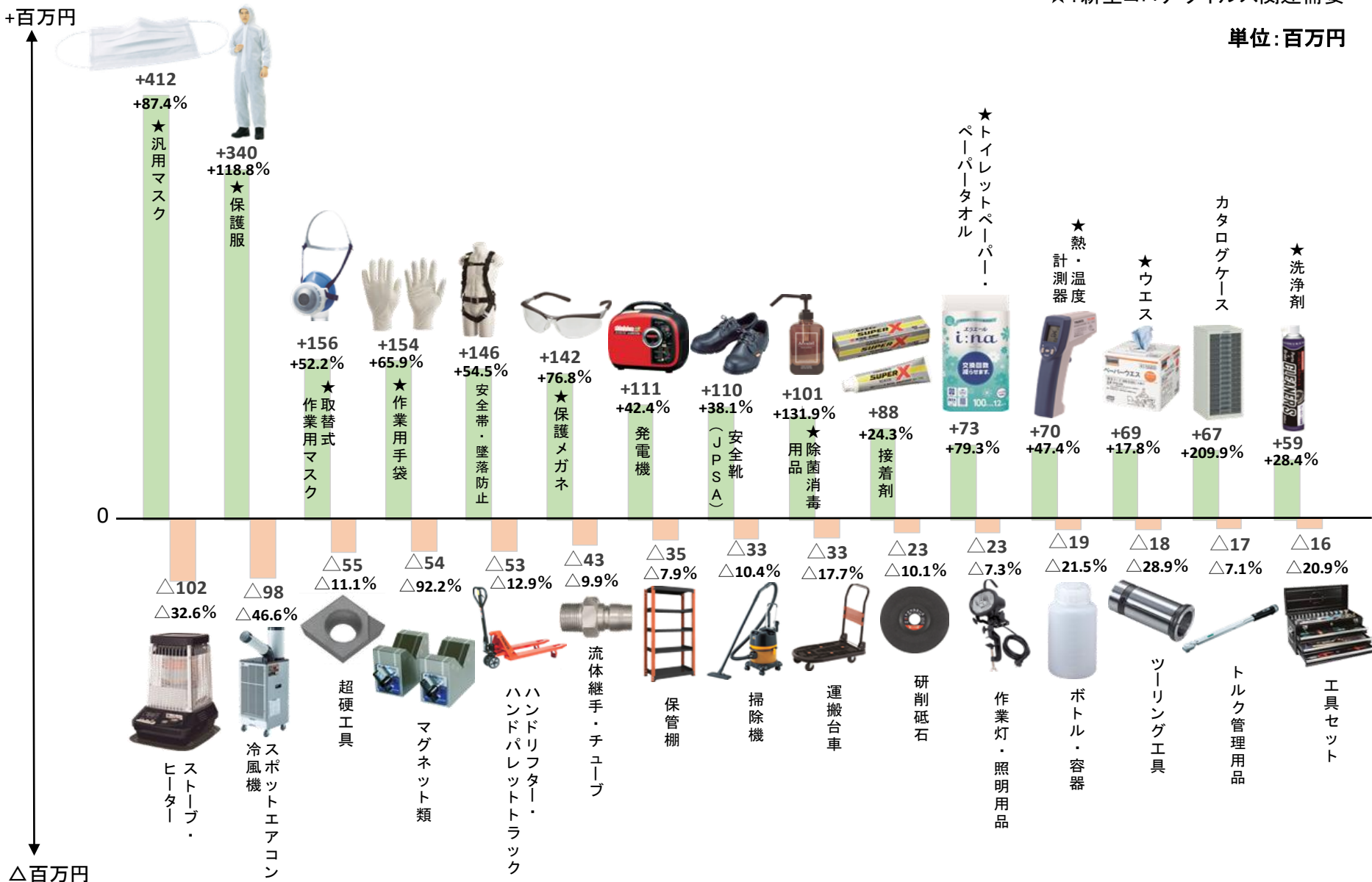
(単位: 百万円、%)

B-⑨ 【親単体】令和2年(2020)12月期第1四半期 売上分析(商品分類別)

■令和2年(2020年)12月期第1四半期 商品別増減グラフ

★:新型コロナウイルス関連需要

単位:百万円



B-⑩ 【親単体】トラスコ オレンジブック掲載カテゴリ別実績

トラスコ オレンジブック掲載商品カテゴリ別売上高

分類	売上高	前年同期比(%)	分類	売上高	前年同期比(%)	分類	売上高	前年同期比(%)
1.切削工具	19億56百万円	△7.9	9.手作業工具	44億20百万円	+0.7	17.搬送機器	24億67百万円	△10.1
2.工作機工具	7億03百万円	△18.1	10.電動・油圧・空圧工具	55億35百万円	△4.3	18.清掃・衛生用品	31億67百万円	+11.8
3.測定・計測用品	26億00百万円	△0.1	11.保護具	63億93百万円	+36.2	19.環境改善用品	14億01百万円	△14.6
4.メカトロ部品	8億04百万円	+5.7	12.安全用品	13億27百万円	+3.3	20.園芸用品	3億91百万円	+3.8
5.金物・建築資材	19億65百万円	+2.3	13.梱包用品	33億40百万円	+5.1	21.オフィス・住設用品	29億66百万円	+7.0
6.空圧用品	11億66百万円	△3.2	14.工事・照明用品	56億31百万円	+3.6	22.研究用品	13億62百万円	△0.3
7.電子機器	10億18百万円	+7.0	15.荷役用品	22億00百万円	△0.5			
8.化学製品	32億03百万円	+7.8	16.物流・保管用品	35億25百万円	△2.2			

お客様の利便性を高めるツール

トラスコ
オレンジブック



モノづくり現場で必要とされるあらゆるプロツールを掲載しているカタログ。紙カタログの見やすさとWEBの携帯性・検索性を融合した「トラスコ デジタルオレンジブック」も提供しています。

掲載商品数 : 約440,000アイテム
掲載メーカー数: 1,776社
総ページ数 : 16,728ページ
年間発行部数 : 210,000部
サイズ : A4判 (B5判から変更)

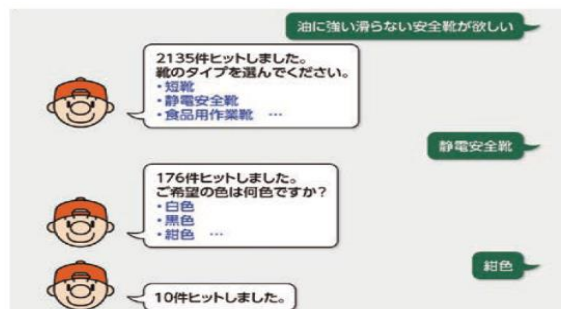
トラスコ
オレンジブック.Com



プロツールの商品検索や購入を目的とした総合サイト。商品見積・注文・返品が可能で、リアルタイムで在庫が確認できます。昨年リニューアルし、検索性や利便性が更に向上しました。

公開アイテム数: 約209万点
システム受注率: 83.1%
商品のSDSや図面、
含有物調査票もダウンロード可
24時間対応

トラスコ
AI オレンジレスキュー



AIの学習機能を駆使した対話型商品検索サービス。問合せに対して高速でデータの抽出が可能で、自然言語や同義語、業界特有の専門用語にも対応しています。

AIコミテくん(チャットボット)が
自然言語で対応
音声入力対応
スマートフォンでも対応

B-⑪ 【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品 売上高実績

■PB分類別売上高の主な内訳

※その他ルートは除く

単位: 百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	19.9%	構成比	19.8%	構成比	25.2%	構成比	6.8%
	粗利率	36.3%	粗利率	36.3%	粗利率	36.8%	粗利率	31.2%
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	11,472	+2.4%	8,587	△1.1%	2,551	+15.4%	249	+11.8%
切削工具	189	+2.2%	137	△0.9%	33	+20.1%	16	△2.8%
生産加工用品	400	△2.6%	298	△5.2%	88	+3.7%	5	+2.2%
工事用品	940	+3.9%	703	+0.9%	218	+14.2%	14	+6.8%
作業用品	1,929	+4.0%	1,553	+2.0%	341	+12.7%	20	+12.9%
ハンドツール	1,159	△2.2%	838	△6.3%	274	+11.9%	32	△0.9%
環境安全用品	2,061	+23.0%	1,560	+17.9%	439	+35.2%	48	+127.5%
物流保管用品	2,705	△5.6%	1,965	△9.1%	620	+9.3%	105	△2.6%
研究管理用品	944	△7.5%	725	△10.9%	210	+10.9%	1	-
オフィス住設用品	1,140	+3.8%	806	△1.0%	323	+18.0%	3	△23.2%

■プライベート・ブランド(PB)商品



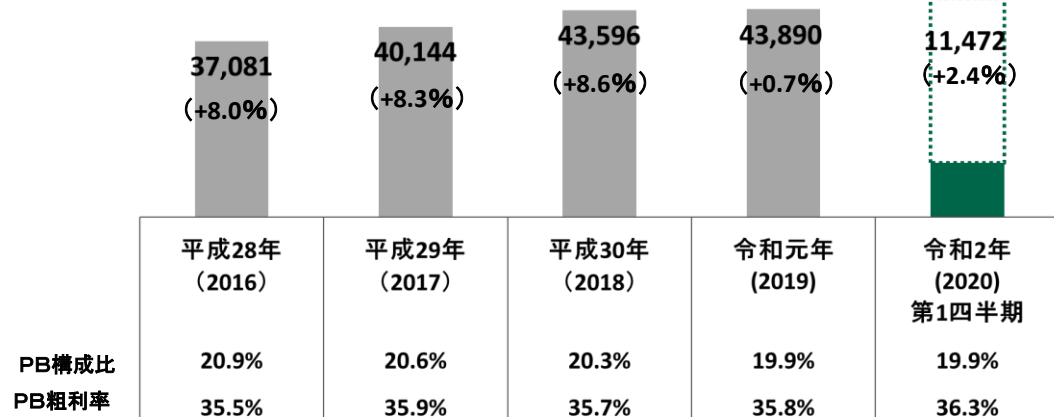
年間約5,000アイテムの新規商品を投入している自社企画開発商品。ナショナル・ブランド商品に比べ利益率が高く、売上高構成比は19.9%を占めています。



■PB商品 売上高推移

単位: 百万円

(前年同期比)

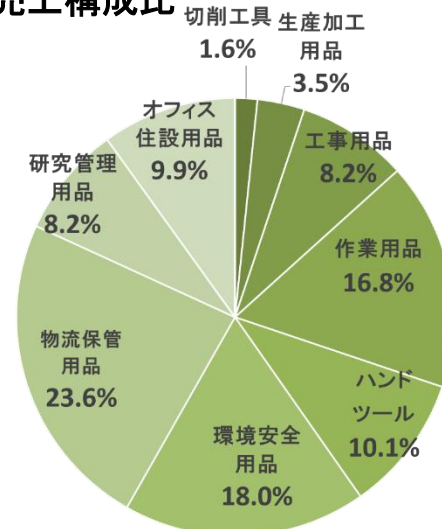


通期予算

46,300 百万円

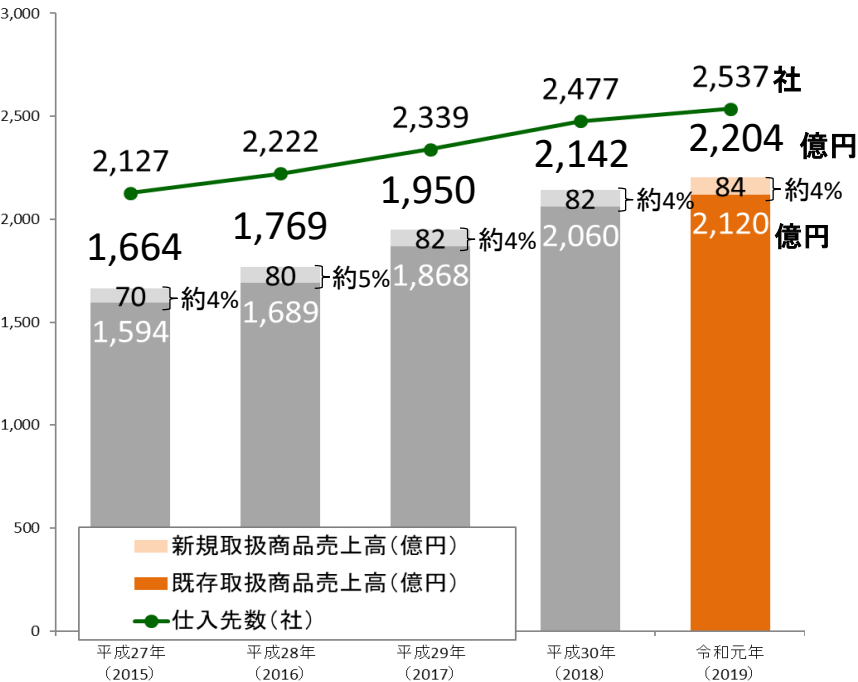
(+5.5%)

■PB売上構成比

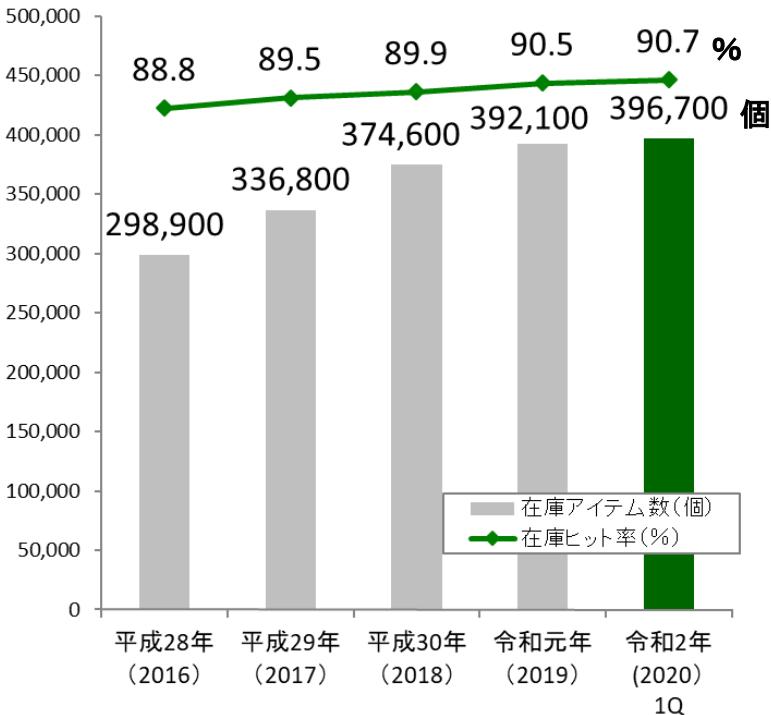


C-① 仕入先数及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数及び法人数

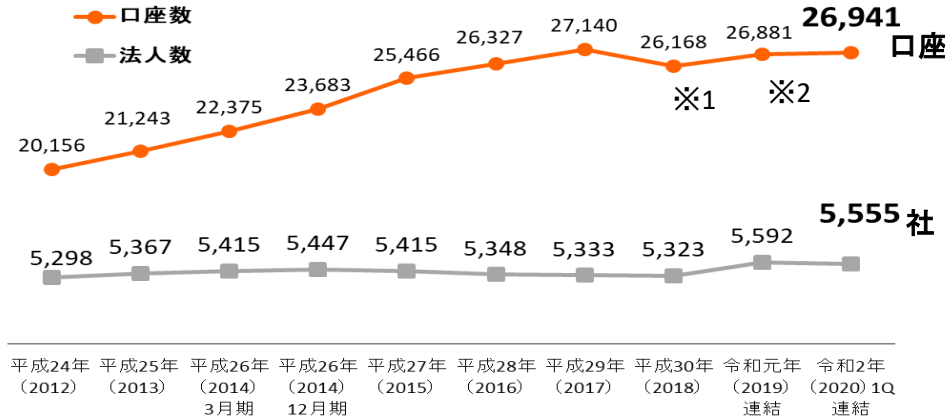
1、【親単体】仕入先数の推移及び全社売上高における
トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移



2、【親単体】在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



3、【連結】販売口座数の推移



1、売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2、在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数
アイテム数および在庫ヒット率は年々増加傾向にあります。

3、多店舗を持つ法人とのお取引が増加しているため、口座数は増加傾向にあります。

※1 平成30年(2018)の口座数減少は、ホームセンタールート取引先の取引終了による口座抹消が主な要因です。

※2 令和元年(2019)より海外子会社を含む法人数・口座数を掲載しています。

C-② 【親単体】物流データ

■配達便・社内間配送便 台数

	台数	前年同期比
総配達便数	272台	△21台
備車便(契約配達便)	172台	△30台
自社配達便	100台	+9台
社内間配送便	35台	△6台
配達便・社内間輸送便計	307台	△27台

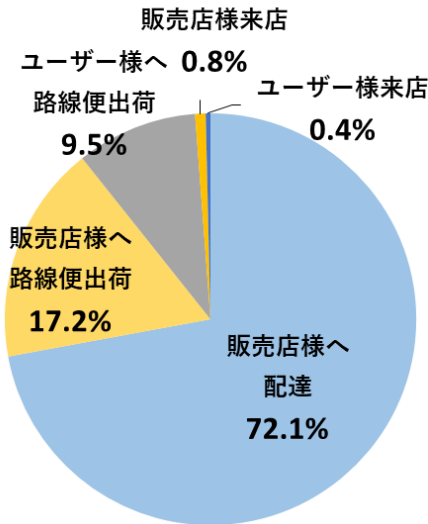
配達便について

積載量や配送ルートを効率化することで配達便・社内間配送便の減便をすすめ、台数の適正化を図っています。

また、お客様へのサービス向上を目指し、自社配達便(当社社員による配達便)の台数を増やしています。現在の自社便化率は36.8%で、初めて自社配達便が100台を突破しました。今後は自社便化率50%まで高めることを目標としています。

■納品区分の実績

【受注行数ベース】



C-③ 【親単体】システム稼働状況

■システム受注(FAX-OCR含む)実績

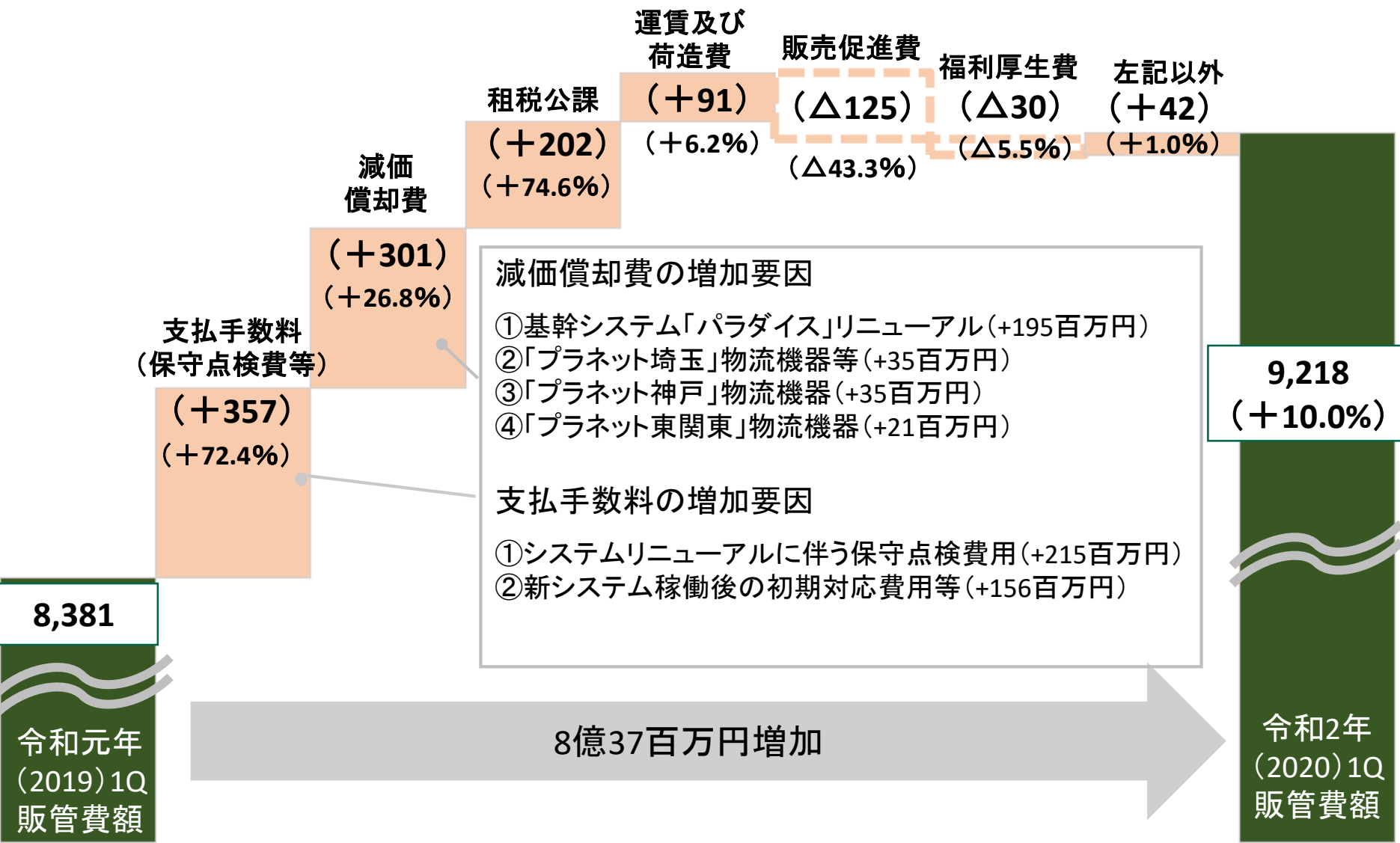
※FAX-OCR DOTKUL(ドットクル)は利用率の低下により2023年5月にサービスを終了する予定です。

受注実績	受注行数 (行)	行数占有率	占有率 前年比	受注金額 (百万円)	金額占有率	占有率 前年比
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	3,661,943	41.7%	+2.8	24,051	41.8%	+5.4
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	1,692,328	19.2%	+28.2	6,624	11.5%	+19.0
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	176,335	2.0%	+15.4	1,177	2.0%	+20.3
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR	71,854	0.8%	※ △25.5	331	0.6%	※ △28.5
EOS ホームセンター電子発注システム	1,705,601	19.4%	+3.5	3,384	5.9%	+13.3
計	7,308,061	83.1%	+7.8	35,569	61.8%	+8.4

照会行数:ドットクル約417件/日、WEBフリーアクセス約72,632件/日

D-① 【連結】販売費・一般管理費の主な増減内容

単位: 百万円、() 前年同期比



増減要因の詳細は次ページをご参照ください。

D-② 【連結】販売費・一般管理費

■販売費及び一般管理費の詳細

単位: 百万円、%

ー【親単体】主な項目についてー

() 前年同期比

		令和元年 (2019) 第1四半期		令和 2 年 (2020) 第1四半期		前年 増減額	前年 同期比
		実績	売上高構成比	実績	売上高構成比		
1	給 与 及 び 賞 与	2,382	4.3	2,401	4.2	18	+0.8
2	運 賃 及 び 荷 造 費	1,482	2.7	1,573	2.7	91	+6.2
3	減 価 償 却 費	1,124	2.0	1,425	2.5	301	+26.8
4	支 払 手 数 料	493	0.9	851	1.5	357	+72.4
5	賞与引当金繰入額	679	1.2	661	1.2	△17	△ 2.6
6	福 利 厚 生 費	555	1.0	524	0.9	△30	△ 5.5
7	租 税 公 課	270	0.5	472	0.8	202	+74.6
8	広 告 宣 伝 費	224	0.4	302	0.5	78	+35.0
9	販 売 促 進 費	290	0.5	164	0.3	△125	△ 43.3
10	借 地 借 家 料	165	0.3	150	0.3	△15	△ 9.2
11	旅 費 及 び 交 通 費	135	0.2	120	0.2	△15	△ 11.1
12	役 員 報 酬	100	0.2	113	0.2	13	+13.0
13	消 耗 品 費	130	0.2	101	0.2	△28	△ 22.1
14	通 信 費	85	0.2	93	0.2	8	+10.0
15	水 道 光 熱 費	98	0.2	93	0.2	△5	△ 5.5
16	車 両 費	54	0.1	55	0.1	0	+0.3
17	交 際 費	11	0.0	9	0.0	△2	△ 24.2
18	そ の 他	95	0.2	102	0.2	7	+7.4
計		8,381	15.0	9,218	16.0	837	+10.0

・社員1,597名・パートタイマー1,133名
・社員残業代(△10百万円)
・パート給与及び賞与の増加(+32百万円)

・出荷量増加等による影響(+86百万円)
路線便の出荷個数は9.7%増加
・路線便の運賃値上等による影響
(+25百万円)
・備車(契約配達便)減便(△52百万円)
備車台数 207台(△36台)社内間輸送便35台含
【参考】自社社員配達便 100台(+9台)

・株主優待商品代(+28百万円)
・60周年記念誌製作費(+24百万円)
・会社案内制作費(+13百万円)

・カタログ「2020年度版トラスコ オレンジブッ
ク」のサイズ変更[B5⇒A4]へのレイアウト
変更作業費用(△70百万円)

第57期で発生したWindows 7のサポート切
れ対応のためのPC購入費(△17百万円)

D-③ 【連結】財務諸表

貸借対照表

令和2年(2020)3月31日現在
単位:百万円、%、()前年同期比

資産	負債・純資産
	流動負債
	42,733
	(+3.3)
	内、短期借入金
	17,800
	固定負債
	27,249
	(+0.0)
	内、長期借入金
	25,000
	純資産
	127,818
	(+0.3)
	自己資本比率
	64.6%
	(△0.4 pt)
流動資産	
90,682	
(△0.5)	
内、在庫	
43,040	
(△1.4)	
固定資産	
107,118	
(+2.0)	
内、有形固定資産	
96,068	
(+3.2)	
総資産	197,801

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	前連結会計年度 (平成31年(2019)1月1日～ 平成31年(2019)3月31日)	当連結会計年度 (令和2年(2020)1月1日～ 令和2年(2020)3月31日)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,299	1,798	△2,501
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,607	△3,234	2,372
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,218	△386	832
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△59	△79
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,506	△1,882	624
現金及び現金同等物の期首残高	12,448	18,330	5,881
現金及び現金同等物の期末残高	9,941	16,447	6,505

貸借対照表について

①在庫金額

取扱商品増加に伴い、在庫金額も増加傾向にあります。
現在は商品の販売頻度が高い商品はより多く、低い商品は
少なく在庫を持つよう、全国の物流センター在庫の見直しを
進めています。

②有形固定資産

当社では、「持つ経営」をポリシーとしているため、事業の
根幹を支える物流センター、支店、データセンター、自社配達
便のトラック、営業車などを自社所有しています。

D-④ 【連結】設備投資等の状況

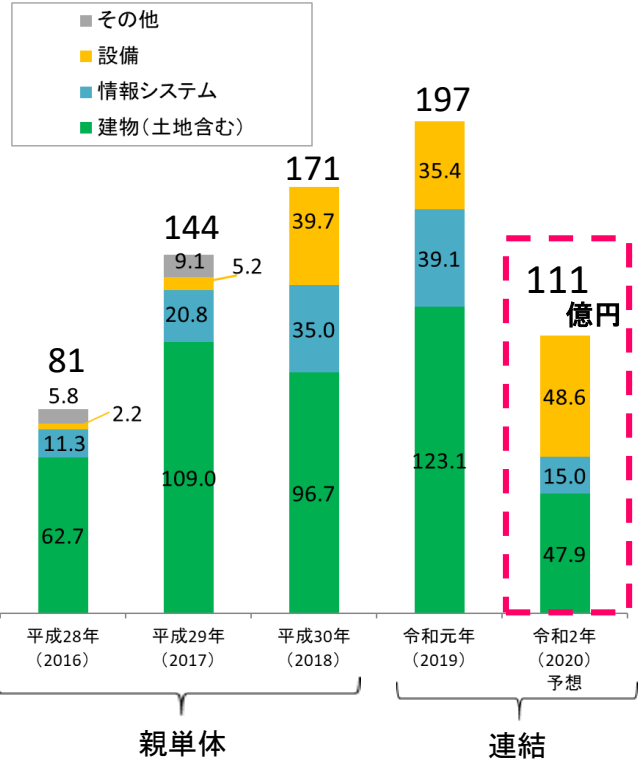
■主な設備投資の実績と予定

単位: 億円

主な設備投資 内訳		総投資 (予定)額	前期までの 実績	R2(2020) 12月期	
				1Q 投資実績額	2Q～4Q 投資予定額
建物	プラネット南関東 建替	87.4	74.9	8.1	3.9
	プラネット東北 増築	40.8	31.7	9.0	-
	リポート&スバ軽井沢 新築工事	29.2	11.9	-	13.9
	大阪ストックセンター(仮称) 新築	10.0	-	0.3	0.4
	豊橋ストックセンター テント倉庫	3.9	-	-	3.9
	その他	0.1	-	0.1	0.1
	建物合計	171.4	118.5	17.5	22.2
設備	プラネット東北 バケット自動倉庫・SAS・GAS・オートストア・I-Pack・JFB・パトラー 等	31.0	-	8.4	17.1
	プラネット南関東 バケット自動倉庫・シャトルラック・オートストア・SAS・電動パレットラック 等	21.0	-	6.1	12.9
	プラネット北関東 太陽光工事	1.1	-	0.7	0.4
	豊橋ストックセンター 運用設備	0.8	-	0.1	0.7
	各所修繕改修工事	0.7	-	-	0.7
	物流システム庫内作業可視化 ダッシュボード	0.5	-	-	0.4
	物流システム庫内作業可視化 運動機能(人員配置適正化)	0.5	-	-	0.5
	その他	-	-	0.1	0.5
	設備合計	55.6	0	15.4	33.2
システム	パラダイス(受発注システム) リプレイス	33.7	30.7	2.9	-
	SORA、Self、Zaicon2 リプレイス	9.4	7.5	1.8	-
	物流センターネットワーク 環境強化	3.0	-	-	3.0
	プラネット南関東 マテハン導入、ネットワーク構築	1.3	-	0.5	0.8
	収益認識の対応	0.9	-	-	0.9
	パラダイス(MROストッカー構築作業) リプレイス	0.5	-	0.5	-
	MROストッカー リプレイス	0.5	-	0.5	-
	プラネット東北 ネットワーク構築	0.1	-	0.1	-
	その他	-	-	0.5	3.5
	システム合計	49.4	38.2	6.8	8.2
土地	プラネット大阪 近隣土地	5.4	0.5	4.9	-
	プラネット東北 隣地購入	2.0	-	0.2	1.8
	小山支店 隣地購入	1.3	-	1.3	-
	土地合計	8.7	0.5	6.4	1.8
合計				46.1	65.4
年間設備投資金額					111.5

■設備投資額の推移

単位: 億円



↑平成30年(2018)より「その他」に含めていた項目を
設備・情報システム・建物に振り分けています。

設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中的のものも含まれている
為、投資金額は期中に変動する場合がございます。
- ・設備投資額は、キャッシュアウトベースの金額にて
記載しております。

令和2年(2020)12月期の減価償却費は
65億円(前年比+17億円)を予定しております。

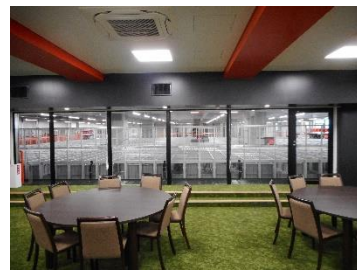
D-⑤ 継続中の主な設備投資

2020年度

プラネット東北 増築

2020年5月7日稼働

2020年1月 完成



▲オーストアの上部を一望できる会議室

概要

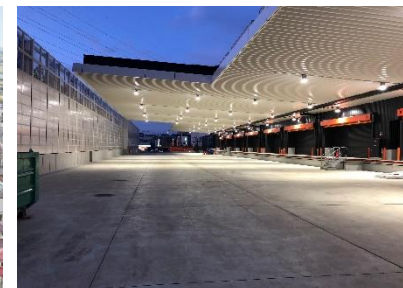
- 住 所: 宮城県仙台市
- 敷地面積: 3,905坪
- 延床面積: 3,231坪(増築前)8,587坪(増築後)
増築棟 6階建
- 投資総額: 約72億円(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 約10.7万アイテム
目標アイテム数: 50万アイテム
- 導入設備: バケット自動倉庫／オーストア／
バトラー／SAS／GAS／I-Pack

今回の増築ではオーストアを導入し、会議室からオーストアを見下ろせる構造にしました。また、災害時にも供給を止めない環境を作るため、新たに災害備蓄倉庫を設置しました。

プラネット南関東 建替え

2020年8月稼働予定

2020年1月 完成



▲雨天時も作業可能なトラックバース

概要

- 住 所: 神奈川県伊勢原市
- 敷地面積: 3,662坪
- 延床面積: 7,885.3坪
- 構 造: 地下1階(駐車場)、地上4階建、免震構造
- 投資予定総額: 約109億円(建物・設備)
- 在庫アイテム数: 11.1万アイテム
目標在庫アイテム数: 50万アイテム
- 導入予定設備: バケット自動倉庫／オーストア／
SAS／ケースCV／電動パレットラック

当社初のダイフク製シャトルラックや当社最大規模の自動倉庫などの物流機器を導入し出荷の効率化や高密度収納を実現します。また、22mのはね出しがあるトラックバースや、地下駐車場をトラックも入れる高さにする事で、夜間でも近隣のご迷惑にならずに入出荷可能となり、細部までこだわって設計されています。

E-① 経営計画

◆予算のたて方について

「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。

マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。今後も支店長予算の集計が予算となるため、毎期計画の見直しが入ります。

	第57期 2019年12月期					第58期 2020年12月期					
	(連結) 実績 (百万円)	構成比 (%)	(単体) 実績 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	(連結) 計画 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	(単体) 計画 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売 上 高	220,674	100.0	220,357	100.0	102.8	231,619	100.0	105.0	231,100	100.0	104.9
ファクトリールート	170,041	77.1	170,025	77.2	100.5	176,140	76.1	103.6	176,140	76.2	103.6
eビジネスルート	34,492	15.6	34,492	15.7	112.2	38,500	16.6	111.6	38,500	16.7	111.6
ホームセンタールート	14,703	6.7	14,702	6.7	109.2	15,300	6.6	104.1	15,300	6.6	104.1
海外ルート	1,437	0.6	1,137	0.4	118.0	1,679	0.7	116.8	1,160	0.5	102.0
1日当たり売上高	-	-	937	-	105.0	-	-	-	966	-	103.1
実働稼働日数	-	-	235日	-	△5日	-	-	-	239日	-	+4日
売上総利益	47,034	21.3	46,856	21.3	103.0	49,352	21.3	104.9	49,100	21.2	104.8
ファクトリールート	35,390	20.8	35,390	20.8	100.7	36,480	20.7	103.1	36,480	20.7	103.1
eビジネスルート	8,657	25.1	8,657	25.1	111.9	9,700	25.2	112.0	9,700	25.2	112.0
ホームセンタールート	2,577	17.5	2,577	17.5	107.1	2,690	17.6	104.4	2,690	17.6	104.4
海外ルート	409	28.5	230	20.3	118.7	482	28.7	117.8	230	19.8	100.0
販売費及び一般管理費	33,237	15.1	32,934	14.9	105.8	36,345	15.7	109.4	36,050	15.6	109.5
営業利益	13,797	6.3	13,921	6.3	96.9	13,007	5.6	94.3	13,050	5.6	93.7
経 常 利 益	14,197	6.4	14,302	6.5	97.7	13,257	5.7	93.4	13,300	5.8	93.0
当 期 純 利 益	9,613	4.4	9,715	4.4	99.9	9,012	3.9	93.7	9,044	3.9	93.1
1株当たり当期純利益	145円78銭	-	147円32銭	-	△12銭	136円66銭	-	△9円12銭	137円15銭	-	△10円17銭
1株当たり配当金	36円50銭	-	-	-	-	34円50銭	-	△2円	-	-	-
プライベート・ブランド商品売上高	-	-	43,890	19.9	100.7	-	-	-	46,300	20.0	105.5
ファクトリールート	-	-	34,012	20.0	99.5	-	-	-	35,340	20.1	103.9
eビジネスルート	-	-	8,600	24.9	105.6	-	-	-	9,600	24.9	111.6
ホームセンタールート	-	-	945	6.4	101.8	-	-	-	1,000	6.5	105.8
その他(海外)	-	-	333	29.3	101.5	-	-	-	360	31.0	108.1
PB商品粗利率	-	-	35.9	-	-	-	-	-	35.9	-	-
PB総アイテム数	59,500	-	-	-	-	67,000	-	112.6	-	-	-
商品在庫金額	43,653	-	42,781	-	115.6	48,809	-	111.8	-	-	-
社員数(役員含む)	1,656	-	-	-	-	1,695	-	102.4	-	-	-
パートタイマー人数	1,128	-	-	-	-	1,148	-	101.8	-	-	-
減価償却費	4,876	-	-	-	-	6,594	-	135.2	-	-	-

この経営計画は本資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

参考資料①－株式情報

■株式の情報

単位：名

	平成29年 (2017) 6月末	平成29年 (2017) 12月末	平成30年 (2018) 6月末	平成30年 (2018) 12月末	令和元年 (2019) 6月末	令和元年 (2019) 12月末
株主合計	14,497	25,365	16,719	29,997	19,776	40,106
単元株主	13,821	24,758	16,038	29,409	17,249	39,495
単元未満株主	676	607	681	588	691	611
金融機関・証券会社	73	71	66	63	73	61
国内法人	552	628	566	657	563	690
外国法人等	174	198	203	228	210	252
個人その他	13,698	24,468	15,884	29,049	18,930	39,103

■株式分割について

平成29年(2017)1月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき、2株の割合をもって株式分割を実施しました。

また、令和元年(2019)12月末で株主数が40,000人を突破いたしました。

■ROE推移

単位：％

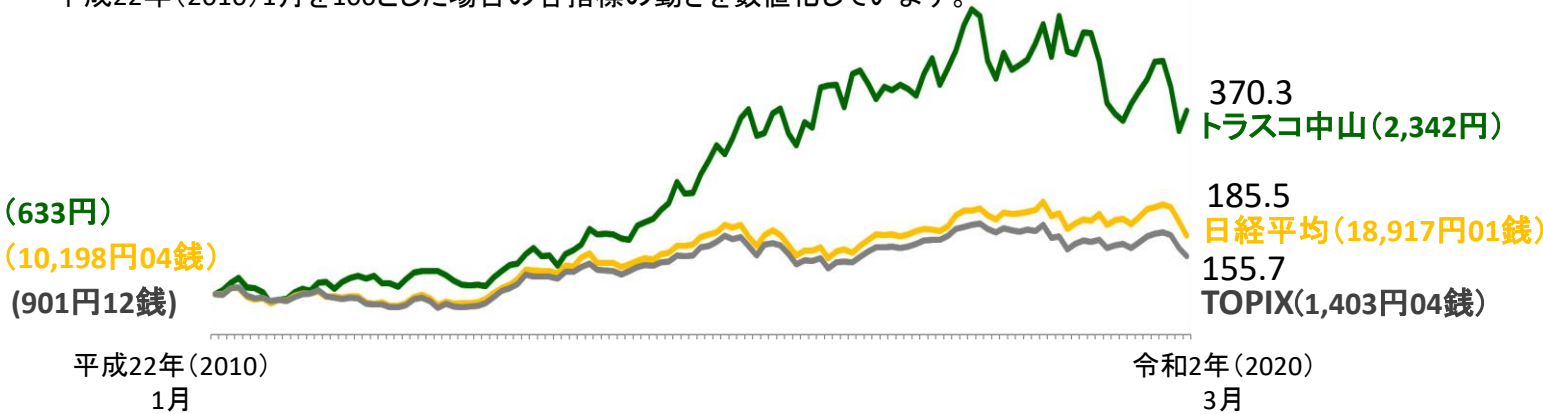
	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)	令和2年 (2020) 予想
ROE	9.8	9.3	8.3	7.5	6.7

＜ROEに対する考え方＞

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切に、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

■株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



2020年5月8日(金)

当社株価 終値
2,365円

日経平均株価 終値
20,179円09銭

TOPIX 終値
1,458円28銭

参考資料②－業界での指数比較

■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

機械工具業界の商社には下記のような企業がございますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、それぞれ取扱う主力商品も異なります。
当社は工作機械などの大型機械の取扱い無く、消耗品の取扱いが中心です。

単位:百万円、%、敬称略

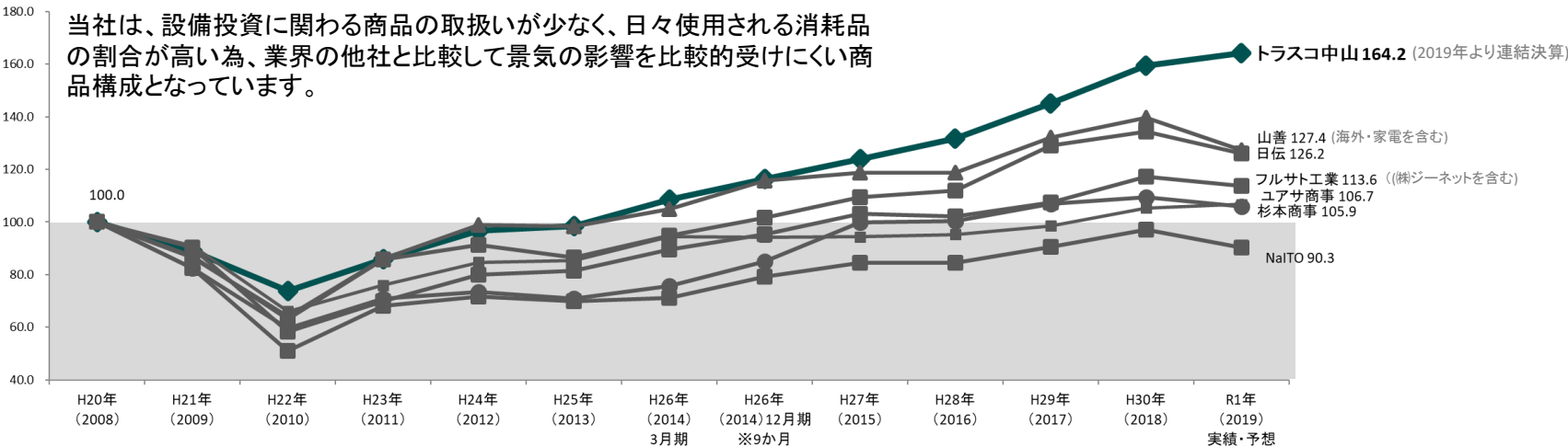
卸売	実績・予想			
	年	決算月	売上高	前年比
(株)山善	2019	3月	480,000	△ 8.8
ユアサ商事(株)	2019	3月	500,000	+ 1.3
(株)日伝	2019	3月	117,000	△ 6.1
フルサト工業(株)	2020	3月	104,619	△ 3.0
(株)NaITO	2020	2月	46,467	△ 7.1
杉本商事(株)	2020	3月	43,890	△ 3.4
トラスコ中山(株)	2019	12月	220,674	+ 3.0
7社合計			1,512,650	△ 3.2

単位:百万円、%、敬称略

小売	実績			
	年	決算月	売上高	前年比
(株)ミスミグループ	2020	3月	313,337	△ 5.6
(株)MonotaRO	2019	12月	131,463	+ 20.0

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。
※各数値は令和2年(2020)5月7日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。

■同業界の商社との売上高指数比較 (％)



※指数基準:平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。
※令和2年(2020)5月7日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値です。
※平成26年12月期のトラスコ中山指数は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、12か月に換算した売上高1,563億円をもとに計算した参考値です。

参考資料③－【連結】令和2年(2020)12月期 四半期毎の予算

■令和2年(2020) 12月期【四半期】

単位:百万円、%

		第1四半期（+1日）			第2四半期（+2日）			第3四半期（+1日）			第4四半期（±0日）		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比
売上高	予算	56,960	100.0	+2.1	57,114	100.0	+ 6.2	57,482	100.0	+ 4.8	60,063	100.0	+ 6.8
	実績	57,493	100.0	+3.1									
売上総利益	予算	12,258	21.5	+2.2	12,485	21.9	+ 6.3	11,765	20.5	+ 4.2	12,844	21.4	+ 7.0
	実績	12,556	21.8	+4.7									
販売費及び一般管理費	予算	9,209	16.2	+9.9	8,899	15.6	+ 6.0	9,061	15.8	+ 9.3	9,176	15.3	+ 12.3
	実績	9,218	16.0	+10.0									
営業利益	予算	3,048	5.4	△15.7	3,587	6.3	+ 7.2	2,703	4.7	△ 9.9	3,669	6.1	△ 4.4
	実績	3,337	5.8	△7.7									
経常利益	予算	3,110	5.5	△15.3	3,648	6.4	+ 6.4	2,764	4.8	△ 10.2	3,735	6.2	△ 7.1
	実績	3,384	5.9	△7.8									
当期純利益	予算	2,117	3.7	△15.5	2,478	4.3	+ 7.7	1,877	3.3	△ 9.2	2,540	4.2	△ 7.2
	実績	2,321	4.0	△7.4									

■令和2年(2020) 12月期【累計】

単位:百万円、%

		第1四半期（+1日）			第2四半期（+3日）			第3四半期（+4日）			通 期（+4日）		
		予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比
売上高	予算	56,960	100.0	+2.1	114,074	100.0	+4.1	171,556	100.0	+4.3	231,619	100.0	+5.0
	実績	57,493	100.0	+3.1									
売上総利益	予算	12,258	21.5	+2.2	24,743	21.7	+4.2	36,508	21.3	+4.2	49,352	21.3	+4.9
	実績	12,556	21.8	+4.7									
販売費及び一般管理費	予算	9,209	16.2	+9.9	18,108	15.9	+7.9	27,169	15.8	+8.4	36,345	15.7	+9.4
	実績	9,218	16.0	+10.0									
営業利益	予算	3,048	5.4	△15.7	6,635	5.8	△4.7	9,338	5.4	△6.3	13,007	5.6	△5.7
	実績	3,337	5.8	△7.7									
経常利益	予算	3,110	5.5	△15.3	6,758	5.9	△4.8	9,522	5.6	△6.5	13,257	5.7	△6.6
	実績	3,384	5.9	△7.8									
当期純利益	予算	2,117	3.7	△15.5	4,595	4.0	△4.4	6,472	3.8	△5.9	9,012	3.9	△6.3
	実績	2,321	4.0	△7.4									

参考資料④－会社データ

■社員数【連結】 令和2年(2020)3月末現在 単位:人

	女	男	合計	前年同月比
役員	1	11	12	±0
執行役員	0	2	2	-1
キャリア	174	419	593	+9
エリア	270	308	578	+6
サポート	26	3	29	△1
スペシャリスト	16	15	31	△3
ロジス	71	257	328	△1
契約社員	1	35	36	+10
現地法人	21	22	43	+2
健康保険組合出向者	1	1	2	+2
中山財団出向者	0	0	0	△1
社員計(役員含む)	581	1,073	1,654	+22
パート	848	285	1,133	+33
従業員計	1,429	1,358	2,787	+55

女性社員比率35.3%／女性セールス82人／
女性キャリア比率30.0%(男性39.5%) ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

■入社者数および退職者数 ※パートタイマー除く 単位:人、%

	平成28年 (2016)【親単体】		平成29年 (2017)【親単体】		平成30年 (2018)【親単体】		令和元年 (2019)【連結】		令和2年(2020) 3月末【連結】	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数	512	959	510	1004	557	1,051	585	1,071	580	1,062
	1,471		1,514		1,608		1,656		1,642	
入社者	70	33	59	67	63	72	52	57	0	1
	103		126		135		109		1	
退職者	20	18	18	18	20	26	42	44	6	11
	38		36		46		86		17	
離職率	3.8	1.8	3.4	1.8	3.5	2.4	6.7	3.9	1.0	1.0
	2.5		2.3		2.8		4.9		1.0	

■倒産による回収不能金額 単位:万円

	平成26年 (2014)	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)
回収不能金額 (万円)	0	0	35	0	4	0

※平成26年(2014)は9カ月決算です。

■平均年齢・年収 単位:歳、万円

	平均年齢			平均年収		
	女	男	全体	キャリア	エリア	全体
令和元年 (2019)	31.3	42	38.2	758	642	655
平成30年 (2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	701
平成29年 (2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	715
平成28年 (2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	674
平成27年 (2015)	30.9	43.3	39.6	727	630	660

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額
※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。令和元年(2019)より業績連動型賞与廃止のため減額。
※令和元年(2019)12月期より連結決算開始のため、令和元年(2019)12月期より平均年齢を連結にて開示。平均年収は全て単体にて開示。

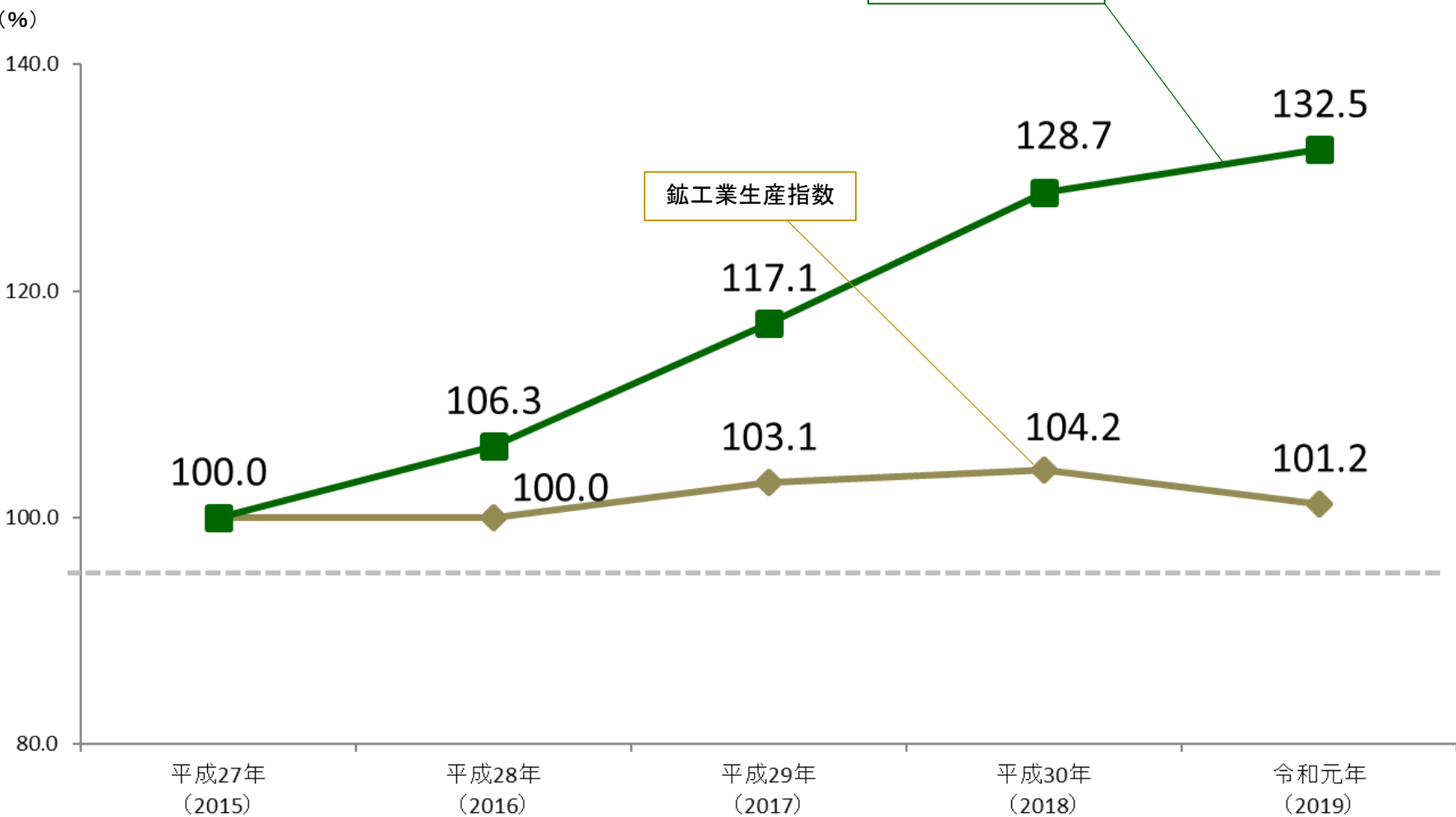
■拠点数【連結】 令和元年(2020)3月末現在

本社	2か所
支店	68か所
物流センター	17か所
海外拠点	3か所
ストックセンター	9か所
合計	99か所

■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019)
廃棄金額(百万円)	50	32	41	39	42
在庫金額(億円)	250	290	318	370	427
廃棄率(%)	0.20	0.11	0.13	0.11	0.10

■当社売上高指数及び鋳工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする
※鋳工業生産指数は令和2年(2020)1月31日に経済産業省より公表された数値

(連結決算)

1月6日～ 基幹システム「パラダイス」リニューアル

「パラダイス」とは受発注業務から会計管理のデータを蓄積している当社の基幹システムです。得意先様、仕入先様とのIT連携を強化し、双方のユーザビリティを追求することで、より円滑な商取引を実施します。売上高3,000億円、在庫アイテム数50万アイテムを見据え、業務効率の向上を目的としています。

■主なリニューアル内容

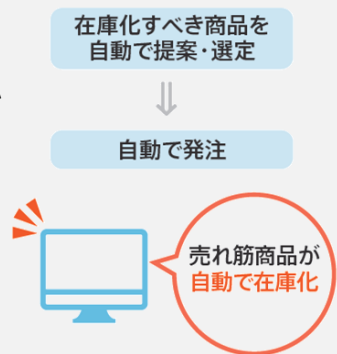
見積自動化

受注・見積実績を基に、定期的に商品の適正価格を自動計算する特価最適化の機能により、回答可能とAIが判断したものは自動で見積回答を行う機能です。



売れ筋商品の自動在庫化

今までは在庫化すべき商品を手手で判断・決定し、人手で発注登録をして在庫化されていました。選定に時間がかかり、失注・納期遅延など機会ロスに繋がるため、販売実績を分析し、売れ筋商品を自動で在庫するシステムを導入しました。仕入れ先様から商品を取り寄せるリードタイムがなくなり、お客様への納期短縮につながります。



業務連携サイト「ポラリオ」

仕入れ先様との見積対応や発注処理、納期回答などを一元化。受注チャンスが向上するとともに、仕入先様への問い合わせが減少し、仕入先様の負担減にもつながります。



特価最適化

過去の受注・見積などの実績を基に、定期的に適正価格を自動計算します。今まで各営業が手動で特価を入力していましたが、この機能により価格登録時間の削減や適正価格での商品販売などが可能となります。



3月13日 第57期 定時株主総会開催

出席総株主数 1,652名(東京会場:908名、大阪会場:744名)

東京会場を本会場とし、今年も東京・大阪2会場同時開催となりました。新型コロナウイルス感染拡大が危惧される中、最大限の対策を行っての開催となりました。出席者数は前年を下回りましたが、株主数は2019年末時点で初の40,000名を突破しました。



- 新型コロナウイルス感染対策 内容**
- ・総会時間の短縮
 - ・株主様への事前はがきで感染予防のご連絡
 - ・出席者全員のマスク着用
 - ・サーモグラフィによる検温の実施
 - ・優待商品の掲示、株主様インタビューの中止
 - ・アルコール消毒の推奨
- など

◀サーモグラフィによる
検温の様子

社長OJS結果

支持率	有効 投票数	賛成
99.7 %	1,448 票	1,443 票



社外取締役が新たに1名選任されました。

鈴木 貴子 エステー株式会社 代表執行役社長

- 【略歴】**
- 昭和59年4月 日産自動車株式会社 入社
 - 平成13年8月 LVJグループ株式会社
(現ルイ・ヴィトン・ジャパン株式会社) 入社
 - 平成21年4月 株式会社シャルダン代表取締役
 - 平成22年1月 エステー株式会社入社
 - 平成25年4月 同社取締役 兼 代表執行役社長(現任)
 - 平成25年5月 株式会社シャルダン取締役(現任)
 - 令和 2年3月 トラスコ中山株式会社
社外取締役(現任)



▲経営会議での様子

社外取締役選任理由

鈴木貴子氏は企業経営に関する豊富な経験と幅広い見識から当社の持続的な成長、企業価値の向上に向けて、株主様・投資家様目線からの監督機能や助言に加えて、経営陣の迅速・果断な意思決定の貢献が期待できるため、社外取締役として選任いたしました。

